

LRT整備工事について



芳賀・宇都宮LRT車両

日頃より宇都宮市の交通行政にご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。
 さて、LRT整備につきましては2018年(平成30年)6月より順次、工事を進めているところであり、今回、下記の工事を実施します。
 工事期間中、皆様にはご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

LRT車両が新4号国道を横断するためのトンネル工事を実施します。

LRT車両が新4号国道を横断するために必要なトンネル(横断ボックス)の整備工事を行います。

横断する場所は新4号国道のランプ部(写真参照)で、工事中は仮設道路の設置や新4号国道本線の車線規制を予定しています。

規制の時期・内容等については関係機関と調整のうえ、確定次第、公式ウェブサイト(下記のQR参照)などで発信します。

■工事場所

下平出町地内

■工事期間

2019年7月中旬から2021年までを予定
 新4号国道西側に設ける工事用道路の整備から着手します。

■お問い合わせ

工事担当 清水建設(株) ☎028-612-7602(24時間対応可)
 宇都宮国道事務所工務課 ☎028-638-2184

LRT整備 宇都宮市LRT整備課 ☎028-632-2585

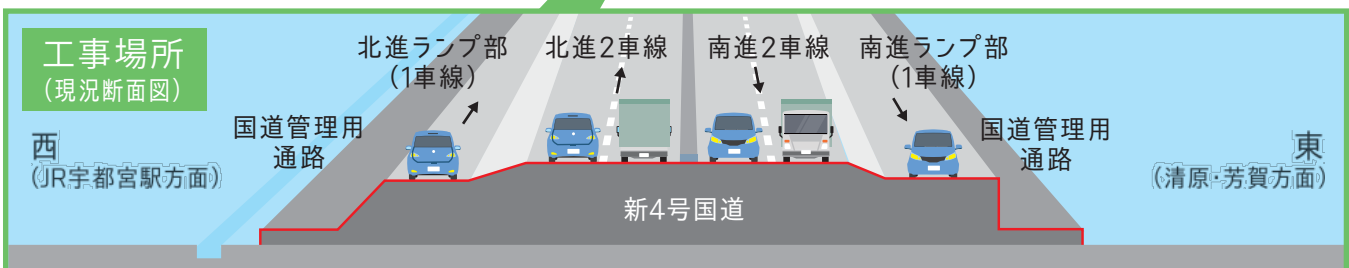
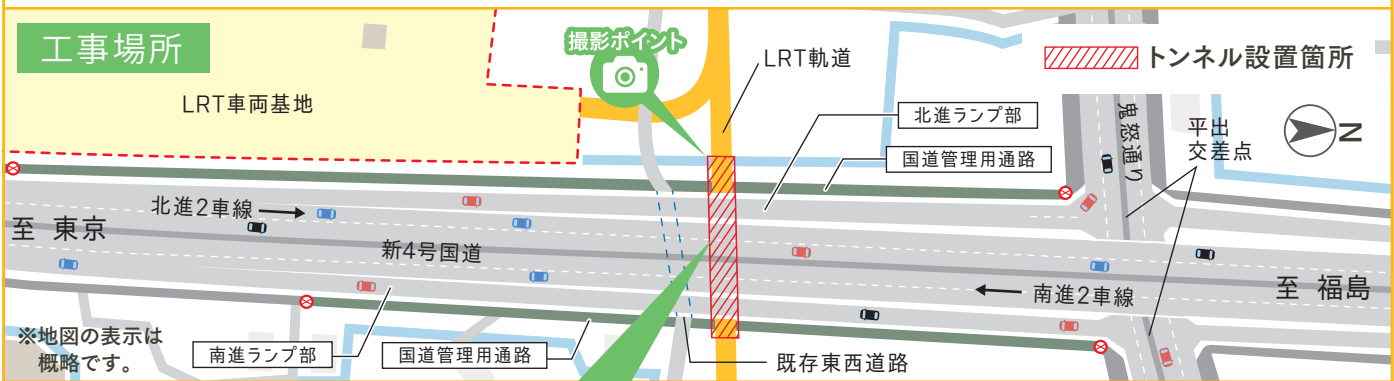
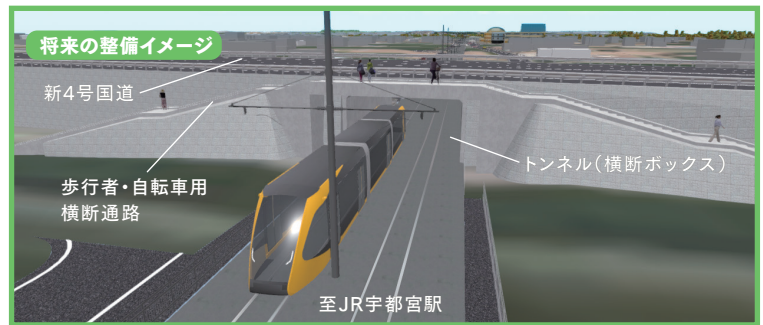
■工事時間帯

8時00分～17時00分

※工事の進捗に応じて一部、車線規制(9時00分～17時00分)が伴います。また、作業内容により夜間工事を行う時期があります。

ランプ部ってなに？

ランプ部とは、立体交差区間の本線道路と一般道路を結ぶ傾斜路のことです。



工事中の国道管理用通路、既存東西道路の通行規制について

- 上記の工事期間中、新4号国道の管理用通路(⊗部分)は終日、通行止めになります。(周辺道路にう回路の案内板を設置します。)
- 既存東西道路では、工事の進捗(仮橋の設置・撤去時期)に応じて終日の車両通行止めが断続的(約1週間・5回程度)に発生します。
- これらの規制については詳細が確定次第、改めて周知します。

工事の最新情報とLRTについては、[ここで知ろう! u-movenext.net](http://u-movenext.net)

公式WEBサイトで、LRT整備の工事情報やLRT事業に関する情報を更新しています

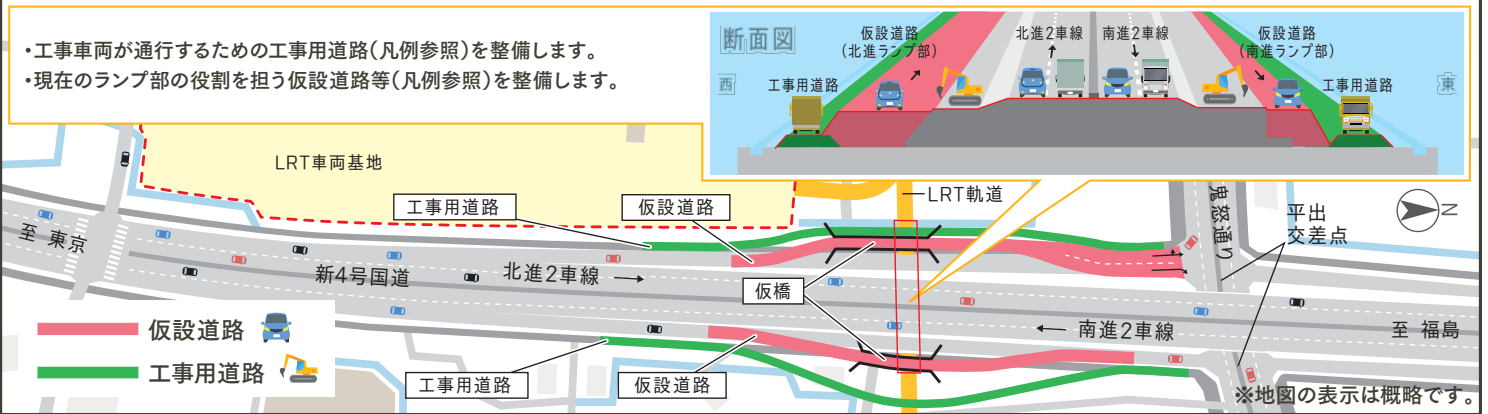


工事のポイント

- ① 工事用道路を整備することで重機やトラック等の工事車両と一般自動車の通行を分離します。
- ② 現在のランプ部の役割を担う仮設道路や仮橋を整備することで交通への影響を最小限にします。
- ③ 新4号国道本線の車線規制を行う場合は夜間のみとし、北進・南進1車線ずつ確保します。

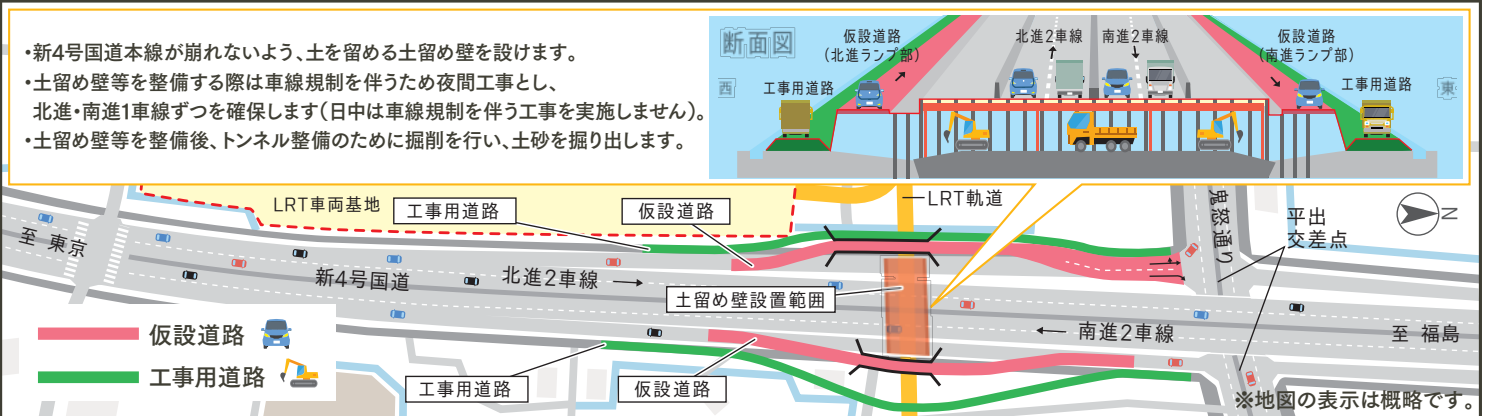
手順① 工事用道路の整備、仮設道路・仮橋の整備

- ・工事車両が通行するための工事用道路(凡例参照)を整備します。
- ・現在のランプ部の役割を担う仮設道路等(凡例参照)を整備します。



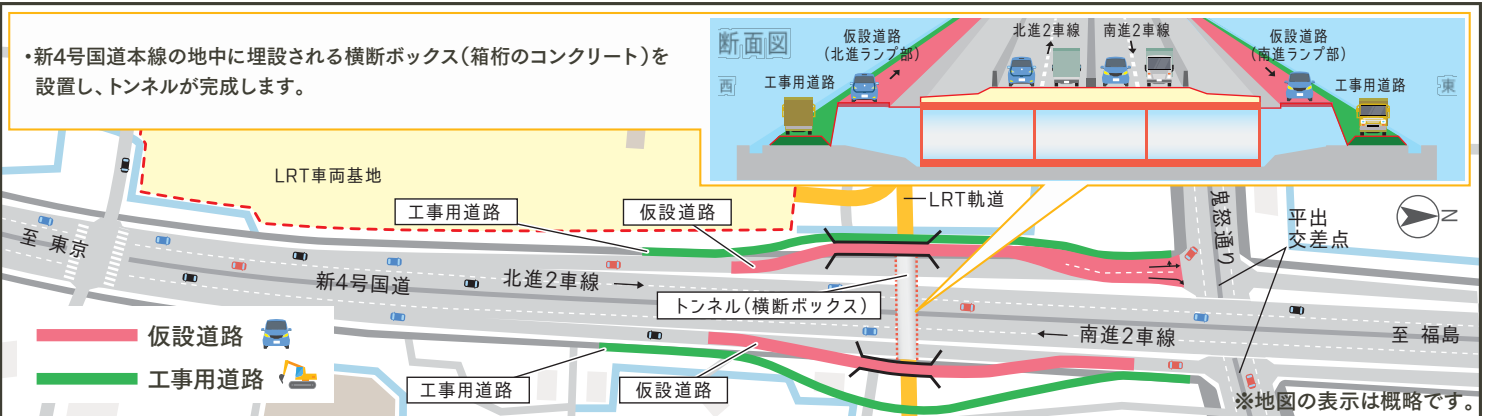
手順② 掘削のための土留め壁の設置、トンネル整備工事の実施

- ・新4号国道本線が崩れないよう、土を留める土留め壁を設けます。
- ・土留め壁等を整備する際は車線規制を伴うため夜間工事とし、北進・南進1車線ずつを確保します(日中は車線規制を伴う工事を実施しません)。
- ・土留め壁等を整備後、トンネル整備のために掘削を行い、土砂を掘り出します。



手順③ トンネル(横断ボックス)の設置

- ・新4号国道本線の地中に埋設される横断ボックス(箱桁のコンクリート)を設置し、トンネルが完成します。



手順④ トンネル出入口の立体横断施設、ランプ部の道路拡幅工事の実施

- ・LRT車両基地側(新4号国道西側)のトンネル出入口に歩行者や自転車が横断するための立体通路を整備します。
- ・北進ランプ部と鬼怒通りとの交差点で道路拡幅工事をを行います。

